



東と西が含まれる興味深い聖句

ゼカリヤ書	<p>14:1 見よ、主の日（→神の裁きと介入の時）が来る。かすめ取られたあなたのものが／あなたの中で分けられる日が。2 わたしは諸国の民をことごとく集め／エルサレムに戦いを挑ませる。都は陥落し、家は略奪され／女たちは犯され、都の半ばは捕囚となっていく。しかし、民の残りの者が／都から全く断たれることはない。3 戦いの日が来て、戦わねばならぬとき／主は進み出て、これらの国々と戦われる。4 その日、主は御足をもって／エルサレムの東にある／オリーブ山の上に立たれる。<b>オリーブ山は東と西に半分に裂け/非常に大きな谷ができる。</b>山の半分は北に退き、半分は南に退く。 →ゼカリヤ書 14:1~4 は、「終末の日」あるいは「主の日」と呼ばれる、神が最終的な裁きと救いを行う特別な時についての預言です。苦難の中にある神の民が、最終的に神の介入によって救われるという希望の預言です。ただし、その前に大きな裁きと混乱が訪れるという現実も描かれており、神の義とあわれみの両面が表現されています。</p> <p>14:8 その日、エルサレムから命の水が湧き出で/<b>半分は東の海へ、半分は西の海へ向かい/夏も冬も流れ続ける。</b></p>
マタイによる福音書	24:27 稲妻が <b>東から西へ</b> ひらめき渡るように、人の子も来る（→再臨）からである。
マルコによる福音書	16:20 [婦人たちは、命じられたことをすべてペトロとその仲間たちに手短かに伝えた。その後、 <b>イエス御自身も、東から西まで、彼らを通して、永遠の救いに関する聖なる朽ちることのない福音を広められた。</b> アーメン。]

聖書にある自然【コエンドロ】



コエンドロ (コリアンダー)  
和名「コエンドロ」は現在ではほとんど使われない。  
鎖国前の時代にポルトガル語 (coentro) から来た古い言葉である。

出エジプト記 16:31  
イスラエルの家では、それをマナと名付けた。  
それは、**コエンドロ**の種に似て白く、  
蜜の入ったウエファースのような味がした。

民数記 11:07  
マナは、**コエンドロ**の種のように、一見、琥珀の類のようであった。

